2013年（平成25年）
第61号
（1月1日）

平安月報

The HEIAN monthly report

発　行　所：立正佼成会　京都教会
発行責任者：渉外部長　宮地啓安
編集委員長：渉外広報　植田恭司
〒605-0041　京都市東山区三条蹴上
TEL (075)762-2211　FAX (075)762-2266

謹　賀　新　年　　京都教会長・佐藤益弘

《～ものごとを素直に、純粋に受けとめる～》

新年、あけましておめでとうございます。

機関誌『佼成』１月号で、会長先生から**「ありのままに観る」**というご法話をいただきました。その前段では、お正月は心機一転の機会であり、「気持ちをきり替える格好の機会であり、みんなが意気を新たに前進しようとする日本のお正月は、素晴らしいものだと思います」と仰っています。この心機一転の機会に、「ありのままに観る」、つまり、感情をまじえず、ものごとを素直に、純粋に受けとめることができれば、現象に心をふり回されずにすむと、教えてくださっています。

後段の**「喜びの光を当てる」**というご法話では、次のように菩薩の生き方を明示してくださっています。「仏さまの教えは、智慧と慈悲といわれます。真理を観る智慧と同時に、慈悲・思いやりの心で人とふれあうことですから、目の前の現象はありのまま見定め、一方では思いやりの心を発揮して自他ともに幸せに―それが、私たちのめざす菩薩の生き方といえるのです」とあります。これこそ、法華経に基づく、人間としての理想的な生き方であると学ばせて頂きました。

先日、京都市営地下鉄に乗っておりましたら、途中で高齢のご婦人が何か言いながら乗車してきました。その言動から、私は変な人だなと、感情をまじえて見ていました。関わりたくないと思っていたら、そのご婦人が私の正面の座席に座り、私に向かって、今日は日曜日で、バスの運行本数が少ないので地下鉄を利用したことと、下車したい駅にこの電車は停まるかどうか…という話をしてこられました。私は、乗り気しない受け答えしていました。しばらく経って、そのご婦人の行先である駅に着き、そのご婦人はホームに降りられました。私がヤレヤレという気持ちでいると、そのご婦人は**私の方を向いて、合掌しながら深々とお辞儀**をされました。その瞬間、私は、ありのままに観ることが出来なかった自分に気づき、恥じ入りました。私が、形だけの対応であったのにも拘わらず、手を合わせてお礼を言われるご婦人、赤の他人に対しても、自分のことについて、何のためらいもなく話ができるご婦人の姿に、私の心が洗われ、自然と頭が下がりました。

このような至らぬ者ですが、「ありのままに観る」ことができる自分をめざしつつ、**どなたに対しても思いやりの心をもってふれあい、人に喜ばれる人間になること**を年頭にあたりお誓い致します。さらに、東日本大震災の被災地の復興を念じ、亡くなられた多くの方々への慰霊・鎮魂の礼を忘れず、本年も精進させて頂きたいと存じます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

合掌

お知らせ（２月の教会行事）

２月　１日（金）	朔日参り	9：00～
	夜間式典	19：00～
３日（日）	節分会	9：00～
４日（月）	開祖さまご命日	9：00～
１０日（日）	脇祖さまご命日	9：00～
１５日（金）	涅槃会	9：00～
１６日（土）～１７日（日）	車椅子駅伝ボランティア（青年部）	

時事刻々

年が明けて龍から蛇にバトンタッチだ。龍は天から雨水をもたらすものとされている。恵みであったり、災害をもたらすものとして、崇められ恐れられてきた▼一方の蛇は、小川や地下水に象徴され、静かに流れる水として、人々の生活にかかせないものと言われている▼昨年は龍のように、激動の一年だった。今年はどんな年になるのだろう。くねくねと「蛇行」することになるのか▼「竜頭蛇尾」のように最初はよくても尻すぼみになっていくのか。「鬼が出るか蛇（じゃ）が出るか」と戦々恐々となるのか▼それとも、「蛇（じゃ）の道はへび」と、その道の専門家が活躍するのか。「常山（じょうざん）の蛇勢（だせい）」の如く、すきを見せずにものごとが進んでいくのか▼特に一年間気をつけたいことは、自信過剰になり過ぎて「蛇を画（か）きて足を添う」ことのないようにしたいものだ。

平成２５年、私たちは「おかげさまと手を合わせ　いつも笑顔でありがとう」を実践して参ります。

昨年１年間のこんなこと、あんなこと　～そして６１号から、新たな１歩へ～

昨年「平安月報」で取り上げた京都教会のできごとをピックアップ。明日へ続くステップにしていきます。

★１月の行事・活動★

1 日、新年の幕開け　元旦参り

7 日、御親教式典

～明るく　優しく　温かい人になろう～

9 日、京都市成人式
ボランティア

みやこめっせで開催された成人式に、本会青年部･法輪クラブからボランティアとして参加。

15 日、教会成人式

京都教会において、第46回成人式が行われた。

20 日～29 日、
様々な祈願を込めつつ
寒中読誦修行

★２月の行事・活動★

3 日、節分会

佐藤教会長は「貪（とん）瞋（じん）痴（ち）の三毒を滅し、心を清めることが大事だ」と述べた。

15 日、涅槃会

庭野会長は法話の中で「『仏になる』という目標に向かって生きること」を説かれ、佐藤教会長は「涅槃の意義をかみしめ、好き嫌いを超えて無我になること」と述べた。

18 日、新宗連青年部
震災復興への祈り学習会

新宗連京都府協議会青年部は「東日本大震災復興への祈りと宗教青年の取組み」学んだ。

18 日～19 日、車いす駅伝
ボランティア

全国車いす駅伝競走大会に、青年部がボランティアとして、選手の受入れや車いすの運搬を行った。

26 日、近畿青年部　庭野光祥次代会長と対話

近畿支教区の婦人部・青年部・学生部の部員が大阪普門館に集まり、庭野光祥次代会長の講話を学んだ。次代会長は「仏教は（どんなときも）“喜びを見つける”　教え」と述べ、「佼成会に入ると、困ったことが宝物になる」と語った。

★３月の行事・活動★

5 日、厳粛・盛大に「創立 74 周年式典」

創立 74 周年式典が大聖堂および各教会で行われた。

10 日、復興への祈り

解脱会関西道場において新宗連京都府協議会青年部主催の東日本大震災復興の祈り式典が行なわれた。

11 日、東日本大震災
慰霊法要式典

震災復興ボランティアに参加した青年の説法があり、被災された方を身近にすることができた。

19 日、深草墓園
春季慰霊式典に参加

この式典には各宗派を招待しており、今回は天理教京都教区の奉仕によって執り行われた。

★４月の行事・活動★

8 日、降誕会・花まつり

お釈迦さまの生誕を少年部の子どもたちがお祝いをしました。佐藤教会長は「一人ひとりが“いのち”を大切に」と語った。

8 日、福知山まつりへ

福知山お城まつりのまとい披露に、京都教会青年部から 7 名が参加。福知山教会青年部と合流して、市民にまといを見てもらう。

13 日、新宗連委員会

京都において、新宗連京都府協議会の委員会が開催された。１１月に「結成60 周年記念集会」の実施が決まった。

29 日、藤森神社を清掃

伏見明社が藤森神社の清掃奉仕を実施した。5 月 5 日に同神社の駆馬神事が行われるため、当日も清掃奉仕を行った。

29 日、もちつき大会

中央明社が京都三条会商店街で「ふれあいもちつき大会」を実施した。同商店街のイベントに定着した行事になっている。

★5月の行事・活動★

1日、「一心」を大書

書家の吉川寿一氏が京都教会・体育館において「こころひとつに～一心～」を大書した。会員には11月4日に披露。

6日、福祉バザール

宇治明社は「第22回福祉バザール」を開催した。収益金327,823円が宇治市社会福祉協議会へ寄付された。

12日、庭野平和賞シンポジウム

京都・下京の「ひと・まち交流館」において庭野平和財団・京都シンポジウム2012が開催された。第29回受賞者のロサリーナ・トゥユク・ベラスケス氏の基調発題のあと、パネルディスカッションが行なわれた。

19日、比叡山春季講座

比叡山延暦寺会館で開催された「比叡山春季仏教講座」で、京都をはじめ近畿から数多くの会員が学んだ。

27日、青年の日

今回は、教会での「平和学習会」、街頭で「うちわのメッセージ書き」「震災募金活動」を呼びかけた。

★6月の行事・活動★

3日、730枚を発送

4月1日から実施された「アフリカへ毛布をおくる運動」で収集された毛布は730枚。本部に向けて発送された。

25日、新宗連京都・エコツアーを実施

新宗連・京都は「地球環境学習会」で大阪ガスのガス科学館・泉北工場を見学を実施した。

★7月の行事・活動★

14日～16日、祇園祭ゴミ分別回収ボランティア

「美しい祇園祭をつくる会」の分別回収ボランティアに明社のメンバーがボランティアに参加。

15日、盂蘭盆会

先祖供養を執り行う。

15日、講演会

大畑誠也講師による「元気が出る教育者講演会」が行われた。

17日、祇園祭鉾曳き

青年部及び新宗連青年部としてボランティアに参加。青年部は役行者山（えんのぎょうじゃ）、新宗連は伯牙山（はくが）を曳いた。

29日、少年少女フェスティバル

大阪普門館において、近畿支教区「少年少女フェスティバル」が開催された。各教会が舞台発表を行うとともに、教会ごとに思考を凝らしたゲームを実施した。

★8月の行事・活動★

3日～4日、平和の祈りの集い

「比叡山宗教サミット」25周年記念事業として国立京都国際会館で開催された。

5日、平和学習会

平和への祈願供養を行い、テラ・ルネサンス理事・鬼丸昌也氏の講演で学び、平和への誓いを新たにした。

5日、228袋を発送

6月から実施されていたゆめポッケ・キッズキャンペーンで収集された228袋のポッケを本部に発送した。

24日～26日、水害復旧ボランティア

8月13日にゲリラ豪雨の水害被害を受けた宇治市の清掃ボランティアに宇治明社からのべ12名が参加。

★9月の行事・活動★

1日、敬老会
シルバーフェスティバル

京都教会体育館において敬老会が実施された。少年部や青年部もお手伝いをしていた。

8日、かめおかこころ塾

本会・外務部長の根本昌廣氏が「震災復興における宗教者の役割～立正佼成会の事例を通して～」と題して講演を行った。

10日、人権問題学習会

京都府が主催する「宗教関係者人権問題研究会」において、「夜回り先生」で有名な水谷修氏の講演が行われた。

10日、脇祖さま報恩会
18日、深草墓園秋季慰霊
23日、秋季彼岸会
24日、新宗連教団訪問

新宗連京都府協議会は教団訪問を実施。今回は金光教泉尾教会を訪ね、平和活動への取り組みなどを学んだ。

★10月の行事・活動★

4日、開祖さま入寂会

13日、日蓮聖人遠忌法要
21日、清掃奉仕と慰霊

乙訓明社では、小倉神社を清掃奉仕した後、山崎合戦の慰霊法要を実施した。午後からバーベキューでメンバーの絆を深めた。

★11月の行事・活動★

4日、「こころひとつに」フェスティバル

庭野開祖の生誕を祝い、東日本大震災の復興支援と会員の絆づくりを目指して開催。吉岡壽一氏の「一心幕」披露、七五三祝い、万灯奉納、模擬店などを実施。模擬店の収益金は京都新聞を通じて被災地に届けられた。

7日、教会が災害避難所に指定

京都教会が東山区の災害避難所指定された。民間のしかも宗教施設が指定されるのは初めて。

15日、開祖さま生誕会

ひたすら法華経の広宣流布に邁進してきた庭野開祖の遺徳をかみしめ、新たな誓願を立てる。

29日、新宗連発足60周年の集い

京都教会において新宗連結成60周年・同京都府協議会20周年記念集会が行なわれた。

★12月の行事・活動★

1日、教会発足記念
7日、新宗連京滋合同懇談会
8日、成道会

9日、受験合格祈願
9日、クリスマス会

少年部のクリスマス会を開催。リース作り、ケーキ、サンタさんのプレゼントと盛り沢山。

エコキャップ回収運動

2012年10月末現在、京都教会から累計で268,710個のエコキャップを回収、送付出来ました。今年も1階トイレ前に回収ボックスを常設し、運動を継続します。ご協力お願いします。

お知らせ

この平安月報をインターネットでお届け（メール送信）します。　メール希望の方は件名に「■平安月報送信希望」と入力し、メール・アドレスをご連絡下さい。
→uetta2004@yahoo.co.jpまで（広報委員長・植田）

涉外部からのメッセージ

お陰さまで平安月報が還暦を迎えました。ご存知のように還暦とは干支（十干十二支）が一巡し、起算点となった年の干支に戻ることを言います。頭巾やちゃんちゃんこなど赤色の衣服を身に付けるのは、かつては魔除けの意味で産着に赤色が使われていたため、生まれた時に帰るという意味でこの慣習があるそうです。涉外スタッフ一同、創刊時の原点に立ち返って新たな一歩を踏み出したいと思います。

この月報はホームページでもご覧頂けます。
アドレスはhttp://rkk-kinki.blog.ocn.ne.jp/kyoto/